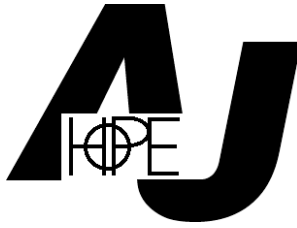


Japanese Welfare Society in Australia



Hope Connection Newsletter No.66

ホープコネクションニュースレター第66号 発行日2013年月8月1日

発行者 Hope Connection Inc.

** Hope Connection Inc. はビクトリア州政府に登録された非営利非宗教の社会福祉団体です **

住所/郵便宛先 c/o New Hope Foundation, 40 Grattan St. Prahran VIC 3181 電話 (電話相談兼用) 0408-574-824

ホームページ: <http://www.hopeconnection.org.au>

e-mail: info@hopeconnection.org.au

ホープコネクションからのご挨拶

今年は冬が早く始まって、朝夕の冷え込みが激しい日が続きましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？ 寒いとはいえワトルの黄色い花が満開で、さざんか、梅や椿、もくれんも次々に咲き始めました。住宅街を歩いていると沈丁花の香りがどこからか漂ってきます。桃やブルーナス、プラムの蕾もふくらんできました。この時期になると、メルボルンではガーデニング愛好者とポッサムとの間で攻防戦開始となります。ポッサムはリスに似た可愛らしい小動物で、何でも食べますが、特に植木の新芽が好物。春を告げる柔らかな緑の新芽が一夜のうちに消えてしまっていることがよくあります。これはポッサムのしわざ。ちなみにブッシュなどに生息する野生のポッサムは1ヘクタールあたりにつき1匹なのに対し、メルボルンなど都市をめぐらすポッサムは14匹だそうです。それだけ都市の方が食料を獲得しやすいのでしょう。生存がたやすい都市環境に適応してしまったようです。夜中のメルボルン市中の公園では、ごみ箱をあさるポッサムのお尻と尻尾がたくさん見え

るそうです。ニュージーランドでは環境に害を及ぼす外来動物としてポッサムを駆除していますが、オーストラリアではネイティブアニマルとして保護されているので、みな様々ポッサムを防ぐ創意工夫をしています。なかなか効果はあがりません。

さて人間世界に目を移すと、日本では参議院選挙があり、オーストラリアでは、まぢかになった次期選挙をめざして首相、労働党の党首が変わりました。政策よりも次期選挙に勝つために奔走する政治家たちの姿は、どこの国でも大差はないようです。とはいえ日本では経済政策が、オーストラリアではポートピープルと呼ばれる難民問題が争点の一つとなっています。ポートピープルの多くは、密入国業者に大金を払ってやってくる経済難民であることが問題を複雑にしています。日本では自民党の圧勝という選挙結果がでたわけですが、さてオーストラリアではどうなるのでしょうか？

Women's Legal Service Victoria (WLSV) の紹介 WLSV Legal Volunteer 南川紗楽

Women's Legal Service Victoria (WLSV) はビクトリア州の女性に離婚や家族関係のもめ事、そして DV から生じる法律問題に対し無料の法律アドバイスを提供している NPO です。

経済的に困っている、英語でのコミュニケーションが難しい、心身障害がある場合など、アドバイスのほかに法廷弁護やケースワークも利用できます。このようなサービスを受けたい時にはまず電話相談、あるいは面談アドバイス・クリニックにお問い合わせください。

WLSV は以下の問題に対して法的アドバイスと支援をしています。

1) 別居と離婚について

オーストラリアで離婚するには夫婦関係が崩壊し回復不能だということを示さなければなりません。("Irretrievable breakdown of marriage") これは一年間別居が続いたこと、そして合理的に考えて結婚生活を再び始める可能性はないと思われることで示すことができます。オーストラリアの市民権がない人がこちらで離婚したい場合にはいくつかの条件がありますので、アドバイス・クリニックにお問い合わせをお勧めします。

2) 離婚後の子供の養育に関する親の権利と義務についての交渉

日本とは違いオーストラリアでは一方の親だけが親権者になることはよほどのことがない限りありません。子供のいる夫婦が離婚するとき裁判所にとって一番重要なのは "Best interests of the child" つまりどのような生活が一番子供のためになるかということです。そして裁判所は「親権は親の間で等しく分担 ("Equal Shared Parental Responsibility") するべきだ」という前提にたっていますが、その前提は場合によって変えられることもあります。例えば、子供に対して DV が行われていた場合などです。

3) 離婚後の財産分割の交渉

WLSV は財産分割のための交渉を助けることもしていますが、どのように援助できるかはケースバイケースです。お問い合わせください。

3) 保護命令 (Intervention Order) の申請

ビクトリア州では家庭内暴力防止と個人安全のための2種類のインターベンション・オーダーを申請することができます。

家庭内暴力とは、家族の一員が行う物理的暴力、精神的暴力、脅し、

経済的虐待、そして子供の前で暴力をふるうことなど、さまざまな形のものさします。

個人安全のための保護命令は、家族関係があるかどうかとは関係なく申請できます。(ストーキングの場合など)

インターベンション・オーダーはこのような行為をやめさせるために裁判所が出す礼状のことです。インターベンション・オーダーが誰かに対して出ること自体は刑法とは関係なく、前科として記録されません。ですがインターベンション・オーダーを破ることは犯罪です。

4) VOCAT (Victims of Crime Assistance Tribunal) からの支援申請手続

暴力犯罪の被害を受けた方は場合によって VOCAT から支援を受けることができます。詳細は

<http://www.vocat.vic.gov.au>

WLSV は支援申請手続などを助けることができます。

WLSV では女性に、経済状況や持っている資産に関わらず、次の三つの形でアドバイスを提供しています。

1) 電話相談

電話番号： 03 9642 0877(メルボルン圏内からの場合)

1800 133 302 (市外局番からの場合)

受付時間： 月曜日 10:00am - 1:00pm

火曜日 6:30am - 8:30pm

水曜日 2:00pm - 5:00pm

木曜日 6:30pm - 8:30pm

通訳が必要な場合、まず電話で通訳を頼めば通訳者とのカンファレンス・コールで折り返し電話します。

2) 面談でのアドバイス・クリニック

受付時間：木曜日 9:30am - 12:00pm

住所： Women's Legal Service Victoria
Level 3, 43 Hardware Lane
MELBOURNE VIC 3000

面談でのアドバイス・クリニックは予約ができません。先着順の受付なので、早めにいらしてください。

面談と電話相談、どちらとも女性のスタッフがアドバイスを提供しています。

3) Melbourne Magistrates' Court アドバイス・クリニック (Duty Lawyer Service)

受付時間： 月曜日から金曜日 9:30am ~1:00pm

場所： Melbourne Magistrates' Court の6階

Melbourne Magistrates' Court で裁判の当日、保護命令状申請のためにきている女性に無料アドバイスと法廷弁護のサービスを提供しています。裁判の前に全く法的アドバイスを受けてない場合など、その場でアドバイスを提供し、裁判のプロセスを説明します。場合によっては法廷弁護のサービスも提供できます。ただし、的確で十分なアドバイスを受けるためには、前もって電話相談を利用することをお勧めします。当日のアドバイスだけでは足りない場合もあり、十分な準備をする事はとても重要です。面談でのアドバイス・クリニックを利用する場合には、裁判所から送られてきた書類やほかの関連書類などもご持参ください。

シニア・サービス 『鈴の会』 にいらっしやいませんか？

ホープコネクション鈴の会は、2008年以來日本語でのシニア・サービスを提供するために活動しています。ホープコネクションの会員の中で、自分たちが年をとって何か手助けを必要とするようになった時に、日本語で助けてもらえるようなサービスがあったらいいのに、という話題はずいぶん前から出ていました。ちょっと病気の時に日本食を運んでもらえたら・・・病院通いや買い物に車を運転してくれる人がいたら、それが日本語で気軽に頼めたら・・・きつと日本語で昔話もしたくなるだろうし・・・日本食の出る老人ホームもいいなあ・・・。人口の多いイタリア人や中国人コミュニティなどではすでにそれぞれの母国語でほとんどのサービスが受けられる体制が出来ています。政府は様々な民族言語でのサービスを提供できるように努めてくれてはいますが、日本語はそれを話す人口が少ないためなかなか対象になりません。それならば、なんとか自分たちで出来ることはないか・・・そんなことを話し合っていたとき、私たちはある日本人女性に出会いました。故入江鈴子さんです。入江さんは長くイギリスで暮らしていらっしやいましたが、私たちと出会う数年前に、娘さんの住むメルボルンに移ってこられていました。その後、ご自身が病気をされた経験から、日本人の文化にあった日本語でのシニア・サービスの必要性を痛感され、がんとの闘病のさなかに、そのことをホープコネクションに託して逝かれました。もうお気づきになったかも知

れません。「鈴の会」の名前は、鈴子さんからいただきました。

では、私たちに何が出来るだろうか。すぐに日本人老人ホームを作れるものでもありませんし、どんな形でのサービスが求められているのかも突き詰めて考えれば難しい問題です。今はともかく、シニア・サービスが必要だと考えている人たちに集まってもらえるところをまず用意しよう、と私たちは考えました。サービスを受けたい人、今は必要ないけれどいつかはと思っている人、ボランティアでサービスを提供する手伝いをしたいと思っている人、いろいろな人がまず出会う場所です。折よく、私たちが活動の拠点にしている Grattan Gardens Community Centre の一室を週に一回使わせてもらえることになりました。お茶を飲みながらおしゃべりする会から始めて、いろいろなアクティビティーにつながっていています。最近の鈴の会の様子を、毎週の担当者が記事にしましたのでご紹介します。

書道教室 (第1木曜日)

書道クラスがスタートした時は久しぶりに持った筆と緊張して先生のお手本とのにらめっこ、筆の運びに気を配りながらの練習は小学生時代の書道の時間を思い出しました。久しぶりに持った筆の運びも慎重に、どきどき、わくわくした気分で半紙の上を書く文字をみてはため息がでるといったスタートでした。毛筆の持ち方はどうだったかな、

などと考えながらの初日でしたが意外と楽しい気分、ひらがなから始まりカタカナと進み今では難しい漢字もなんのその(?) 気合を入れて挑戦しています。

書道は気持ちを落ち着かせる不思議なパワーがあります。そして、あの墨汁の匂いもなんともいえない郷愁を誘います。2月までご指導して下さいました恵子先生は一人ひとりの進み具合を見てお手本を書いて下さり、書きあがった作品を添削して下さいました。小学生時代に学校の先生からもらった2重丸、花丸を思い出し、つい皆さんに感づかれぬように顔をほころばせた時もありました。

書道クラスは人気のクラス、恵子先生がご都合で木曜日の指導が無理になり大変残念ですが、新しい由江先生が快く引継いで下さり、これからは皆さんと一緒に楽しみながら続けて行きたいと思えます。

お茶会 (第2木曜日)

この日はまずお茶とお菓子の準備から始まります。準備といっても、クッキーやおせんべい、果物などをお皿に並べ、湯沸かしポットを用意して・・・それと同時に図書の貸し出しもします。皆さんから寄付していただいた日本語の本がそこそこの数あり、借出は、図書ノートに日付と本の名前と氏名を書いていただくだけ。貸出し期間も特に決めていません。そうこうするうちに、お茶が入って、やっぱり日本茶になる事が多いですが、お茶会がはじまります。メンバーの出入りは全く自由ですので、だいたいの場合、初めての参加とか久しぶりの参加とかの方も多いため、まずは簡単な自己紹介をします。出身はどこだとか、こちらに来て何年くらいになります、最近こんなことをしています、とか言っているうちに、質問が飛んだり、あら私もよ、と話し始める方がいたり、話は横道にそれ、どんどん楽しく盛り上がり、2時間があっという間に経ってしまいます。最近は、認知症関連の様々なトピックの1時間セミナーがはいる事もあります。

お茶会のあと、もうひとつのアクティビティー、社交ダンスです。月1回しか練習の機会がないのでなかなか進歩しないとぼやく事しきりのメンバーですが、音楽に合わせて体を動かすのはとても気持ちいいものです。日本語堪能な中国紳士、励中行さんが講師です。もちろんお茶会だけとか、ダンスだけとかの参加も歓迎しています。

コンピュータ自習講座 (第3木曜日)

初心者のためのコンピュータ教室です。ホープコネクションのメンバーとボランティアの方が講師となって、皆さんのちょっとしたコンピュータの質問に答え、一緒に考えていく教室です。

コンピュータを立ち上げる事から、インターネットに関するちょっとした質問、Facebook を使ってみると連絡を取り合いたい、メールでの写真の添付の仕方、日頃デジタルカメラの中にしまっている写真をなんとか整理したいがコンピュータでどうやって整理できるの、などと、簡単そうだけど、どうしたらいいかわからない、というような質問にたいして、手順に沿って学んでいきます。個人の質問にひとつずつ答えていく教室なので、初心者といっても個人差が大きいので心配という方でも、気軽に参加できます。

ご自分のラップトップ、iPad などをお持の方はご持参になり、気軽にご質問ください。お持ちでない方でも、教室に置いてあるコンピュータを使うことが可能です。(日本語は今のところ使えませんが)

先月から会場の隅っこになぜか麻雀卓がこっそりはいりこんでい

ます。静かに?麻雀を習ってみたい方もどうぞいらしてください。

絵画教室 (第4木曜日)

2012年10月から始まった鈴の会の絵画教室。講師はスターク章子さん。「まずは絵を描くことを楽しみましょう。絵を描きたいという気持ちがあれば、誰でも絵が描けます。私の方は、絵の language である色、形、あるいは絵画そのものについて考える手助けをします。絵を描くことは自分を表現する過程。自由に心を開放して楽しみましょう。」という主旨でスタートしました。

10人ほどが集まった1回目は、絵筆を握るのはナン十年前の小学校以来、という人がほとんど。かくいう私もその一人。不安と期待に胸ふくらませて真っ白な画用紙に向かい合いました。現在ではナン十年前と違って、水彩画はアクリル系の絵の具を使うのが通常とのこと。

まずは3原色の2色を使って黒や紫などの色を創ることから始まりました。絵の具の量と水の量の混ぜ具合がわからなくて、始めのうちは試行錯誤。これで楽しめるかしら?と思った人もいらしたようです。それでも回を重ねるうちに、先生が持ってきてくださる季節の果物や野菜が描けるようになってきました。描き方に人それぞれの個性はあっても、トマトはトマトと見分けがついて、これリンゴのつもりだったんだけど・・・ということはまずはありません。初回は先生も参加者も少々緊張ぎみでしたが、いまでは教室の皆さんもリラックスしてきて、絵を描くことを楽しめる雰囲気になってきました。

この次あたりから、屋外に出て絵を描く基本となるデッサンを習う予定で、これも楽しみです。

根本さんのコンピュータ講座 (第5木曜日)

コンピュータ技術者の根本雅之さんが毎回たくさんの実習教材を用意してくださっています。“コンピュータの出来る人”の言葉はだいたい難しすぎて初心者にはついていけない事も多いと思いますが、根本さんは違います。初心者のレベルにあわせてコンピュータの基本的な知識をわかりやすく説明して下さいます。わからない事は恥ずかしがらずに質問できます。この講座で習った事をマスターできたら、きっと自信を持ってコンピュータを使えるようになると思うのですが、なかなか覚えられなくて・・・根本さんごめんなさい。

次の講座は、8月29日の予定です。

年をとってもボケないで暮らしている人たちの特徴は、趣味を持って、たくさん友人を持ち、こまめに体を動かし、いろいろなことに感動しながら生き生きと生活している人だそうです。日本を離れてメルボルンで暮らしている私たちにとっては、そういう機会は意識して作らないと得られないものかも。英語の世界ではやっぱり気骨が折れます。年齢を重ねるにつけ、日本の文化が懐かしくなり、日本食を食べながら、日本語でたわいもないおしゃべりをする事がつくづくかけがえのない大切なことに思えたりします。日本語で気軽に楽しめるチャンスがあれば、そんな思いで毎週木曜日の活動を続けています。シニア・サービスとはいっても、参加する年齢制限はありません。会員制でもなく、どなたでも参加していただけます。運営のための資金は、州や地域政府からの補助金と皆様からの寄付でまかなっており、無料でご参加いただけます。皆さんの力やアイデアを合わせて、これからはもっと他のサービスにも広げていけたらと思っています。

ホープコネクションからのお知らせ

ホープコネクション 日本語電話相談 <<受付日に変更になりました。>>

諸般の事情により2012年11月1日より、電話相談の受付日を変更しました。メール相談は常時受け付けます。ご了承ください。

電話番号：0408-574-824

受付時間：月・水・木曜日 午前10時～午後3時まで

祝祭日はお休みをいただきます。あしからずご了承下さい。

ご相談はEメール:info@hopeconnection.org.auでも受け付けています。お気軽にご利用下さい

カルチャースクール 『血管疾患のリスクを減らす方法』

9月のホープコネクション・カルチャースクールでは、このニュースレターに医療関係の記事を書いていたというドクター・ナカジマに講演をお願いしました。タイトルは「血管疾患のリスクを減らす方法」。人の命の元締めともいえる血液。その大事な血液を身体の隅々まで送る血管の病は万病の元とも言えます。健康な生活を末永く維持するためにはどのような日頃の注意が必要なのでしょうか？

日時： 2013年9月28日（土）午前10時～午後12時

場所： Grattan Gardens Community Centre
40 Grattan Street, Prahran

(Melway 58 D 5, Commercial Road から南向きに Grattan Street に入っすぐ)

参加費： 一人5ドル（コーヒー・紅茶、資料付）

申し込み・問い合わせ： 上記の日本語電話相談またはEメールまで（9月24日までお願いします。）

※チャイルド・ケア、駐車場をご希望の方も申し込みの際に知らせて下さい。（駐車スペースは先着順です。）

ホープコネクション シニア・サービス 鈴の会

ホープコネクションでは、毎週木曜日の午後プラランにあるコミュニティセンターのミーティングルームで、シニアの方々を中心に、アクティビティを催しています。参加資格は、特になし。年齢、性別、国籍、すべて何でも結構。ただ、日本語が話せる方が便利かと・・・。ともかくどなたでもどうぞ。参加費は無料、参加申込も必要ありません。日本語図書の貸出しもしています。お気軽に立ち寄ってください。詳しくは3ページ目の記事をご覧ください。

場所： Grattan Gardens Community Centre
40 Grattan Street Prahran

(Melway 58 D 5, Commercial Road から南向きに Grattan Street に入っすぐ)

日時： 木曜日、午後1時から3時

参加費： 無料

問合せ： 上記のホープコネクション電話相談・メール相談へ

Special Thanks to-

ホープコネクションの活動は多くの方のご支援、ご好意、ご協力に支えられています。ほんとうにありがとうございます。

庭野平和財団、Good Neighbours Trust Fund、South Central Region Migrant Resource Centre、Moshi-Moshi ページ Pty Ltd.、メルボルン在住匿名希望の方、Victoria Multicultural Commission、伝言ネット、ユーカリ出版、Education Logistics、J C V、豪日協会、佐川義人、Timothy McDonald、Michal Morris、洋子マーフィー、NEC、メルボルン日本人会、大隈良譲、Sandra Roeg、SBS 日本語放送、天野行哲、加茂前千代、Christine J. Rodan、吉澤通明、山本和儀、Mark Preston、Stacey Steele、鈴木月子、田村真美、村越庸子、Jennie Rice、City of Stonnington、City of Port Phillip、Kiyomi Campbell、ZZZ、日豪プレス、Maria Palmares、嘉志摩江身子、2006日豪交流年、新保道滄、Leigh Trinh、岩本幸子、入江鈴子、斉藤喜夫、前川由紀子、与那覇麻紀、峰岸夏子、樽井千賀子、永野智子、Mayumi International、古橋和子、ワタダチユキ、水上徹男、根本雅之、森下恵子、励中行、New Hope Foundation、横田仁子、占部英高、稲葉育代、中嶋一憲、スターク章子、伊藤修、浅原由江（敬称略・順不同）